

温度計の使い方

● 気温をはかるとき

① 場所をえらぶ

- ● **風通しのよい場所**ではかる。
  - ➡ 時間や日にちをおいて**続けて気温をはかる**ときには、**同じ場所**ではかる。

② 高さを決める

- ● **地面から 1.2m ～ 1.5m の高さ**ではかる。

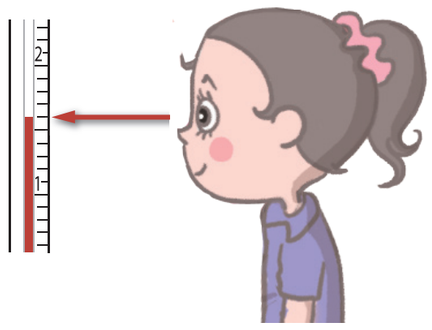
③ おおいをする

- ● 温度計に**直せつ日光が当たらない**ようにしてはかる。
  - ➡ ノートやバインダーなどで、おおいをし、かげをつくる。



④ 目もりを読む

- ● えきの先の動きが止まったら、**えきの先の目もりに目の高さを合わせて**、真横から読む。



● 地温をはかるとき

① えきだめを土に入れる

- ● シャベルなどを使って地面の土をあさくほり（1cm ほど）、**温度計のえきだめを入れ**、軽く土をかける。

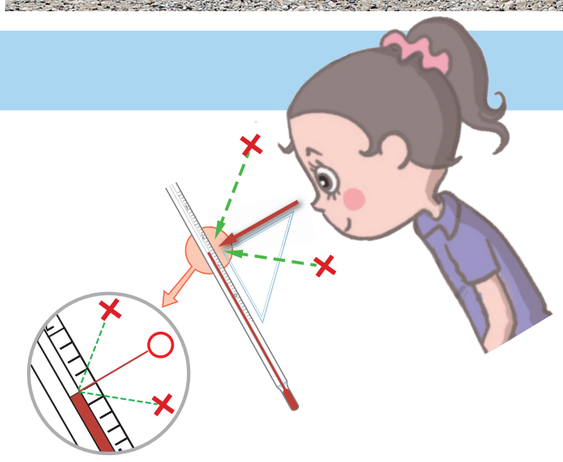
② おおいをする

- ● 日なたでは、温度計に**直せつ日光が当たらない**ようにおおいをしてはかる。



③ 目もりを読む

- ● えきの先の動きが止まったら、**えきの先の目もりに目の高さを合わせて**、真横から読む。



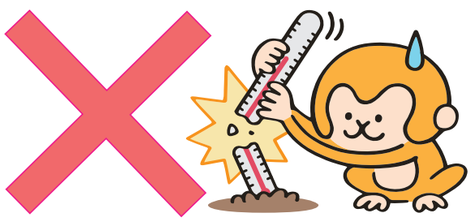
温度計は、ものの温度をはかる道具です。空気の温度は「**気温**」、地面の温度は「**地温**」、そのほかに水の温度は「**水温**」といいます。



注意 温度計のえきだめの部分はわれやすいのでにぎりません。

注意 温度計をほかのものにぶつけたり、ふり回したりしません。

注意 温度計がおれるので、温度計で地面にあなをほりません。



読んでみよう



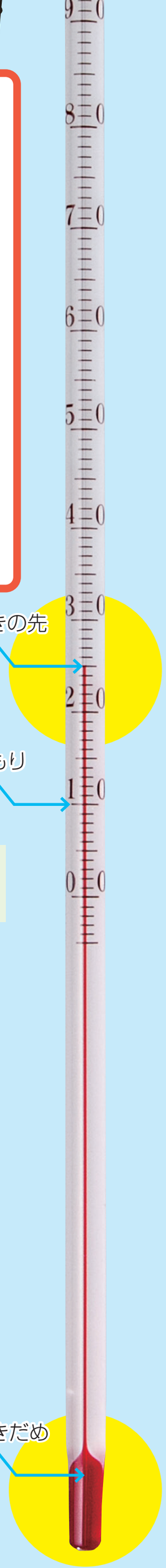
「18 ど」と読み **18℃**と書く。



えきの先に近い下の目もりを読み **18℃**とする。



えきの先に近い上の目もりを読み **19℃**とする。



教授用資料 本資料は,「教科書発行者行動規範」に則ったものです。

学校図書株式会社